

牛廻山 (1206m)

[※ 実施日—2021年7月13日(火)]



(ダイジェストシーン)

※弥生班 計8名 (弥生班6名、他班2名)

① (五味垣内橋スタート)



② (準備体操)

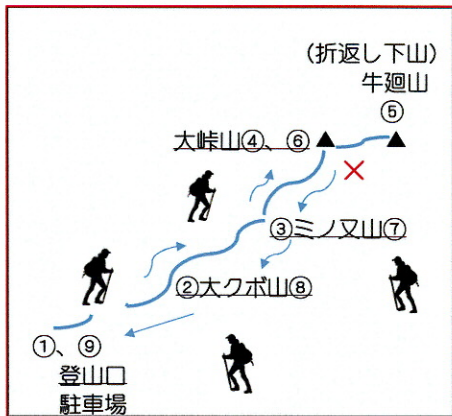
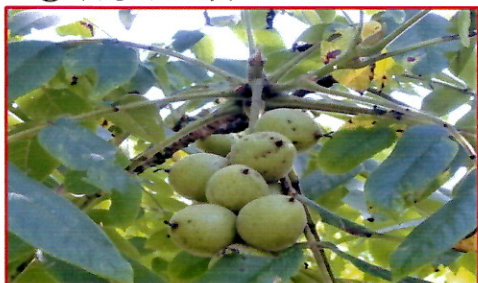


③ (急登)



※【山行中に見つけた植物等】

⑨ (くるみの木)



④ (林道を進む)



⑩ (ホタルブクロ)



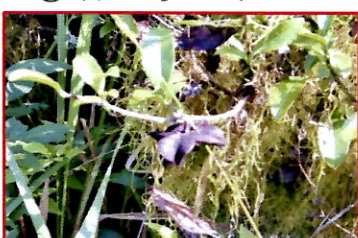
⑤ (ルート探し)



⑥ (ランチタイム)



⑪ (サルオガセ)



⑦ (大峠山の麓で記念撮影)



⑧ (下山)



⑫ (ホコリタケ)



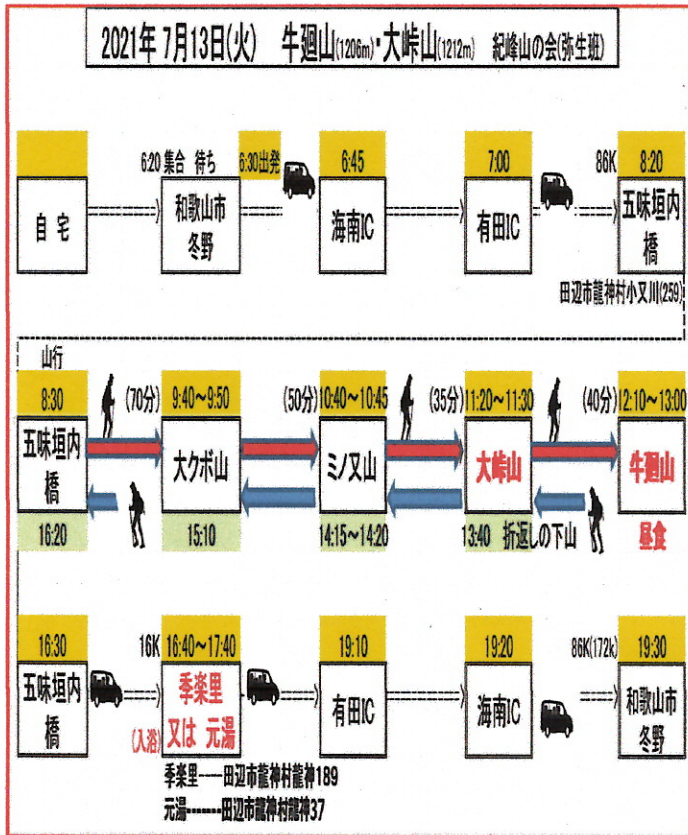
牛廻山 (1206m)

紀峰山の会 (弥生班)

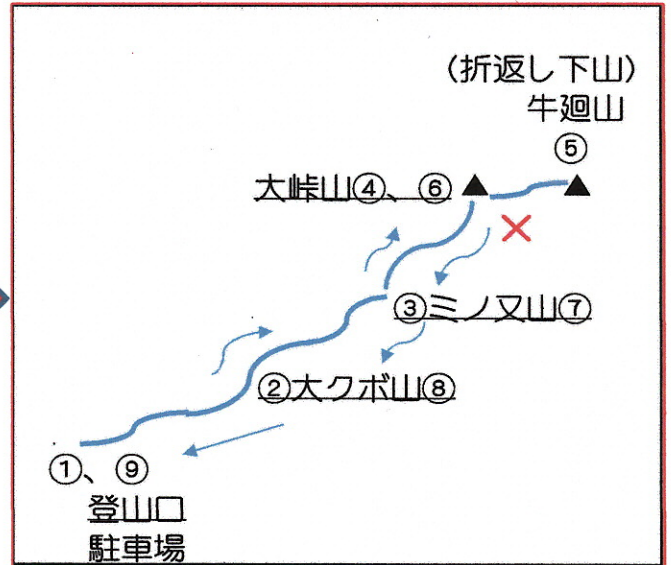
※(山行日) ----- 2021年7月13日(火)

(メンバー) ----計8名(弥生班6名、他班2名)

※(行程) [予定]



(牛廻山コースのロードマップ)



※[牛廻山の由来]

- 牛廻山の名前の由来を調べてみると、2つの説があった。
 - 龍神村の小又川と十津川村の迫西川のそれぞれの村から、仔牛と親牛を引き連れてこの道を登り、仔牛と親牛の交換が行われたとか？
 - 山を越えるルートが商用に使われ、牛で荷物を運んできても、この山を牛で越えるのが難しく麓で牛を帰した(廻した)からとか？

※[はじめに]

- まだまだ梅雨が明けない時期で天気が気になりますが、弥生班から6名、他班から2名参加で実行しました。

※(行程) [結果]

(往路---車移動)

- 和歌山市冬野 (出発) 6:30
- 五味垣内橋駐車場 (到着) 8:30

(山行)

- ① 登山口 ----- 8:40
- ② 大クボ山 ----- 9:50
- ③ ミノ又山 ----- 11:30
- ④ 大峠山 ----- 11:45
- ⑤ 大峠山麓 ----- 12:50
- (昼食)
- ⑥ 大峠山麓(出発) ----- 13:15
- ⑦ ミノ又山 -----
- ⑧ 大クボ山 -----
- ⑨ 登山口 ----- 16:20

(帰路---車移動)

- 五味垣内橋駐車場 (出発) 16:30
- 温泉入浴(龍神温泉元湯)
- 和歌山市冬野 (到着) 21:00

(写真1) (五味垣内橋にて)



(写真2) (準備体操)



・まずは、足腰のストレッチ体操

(写真5) (急登が始まる)



・スタートから30分程で急登が……

(写真3) (牛廻山への登山口)



・民家の庭に「牛廻山」への標識がある。

(写真6) (林の中を延々と)



・足場も悪くなり、汗ばんできた。

(写真4) (ゆるやかな坂道)



・天気はまずまず、のんびりとスタート

(余談)

・ムシムシと暑くなり、メンバーの1人が、「汗が背中を流れ、ぐちゅぐちゅや」と呟くと、誰かが、「私は胸の谷間から流れ洪水や」と返した。

洪水になるほど大きな谷間か？
口の達者なメンバーばかりである。

(写真7) (林道を進む)



- ・汗を流しながらも、楽しい会話で進む

(写真8) (ミノ又山)



- ・(11:30)途中の標識がなく大クボ山を過ぎ「ミノ又山」に到着。
(予定より約1時間遅れ)

(写真9) (ルート探し)



- ・大峠山へ向うべく標識を探すが迷う。
15分程進むがルートの間違えた。
スマホ等で確認し正規ルートに戻った。

(写真10) (大峠)



- ・右往左往しながら、「大峠(大峠山の麓)」に到着。ここから右側の大峠山山頂越えか、トラバースして直接牛廻山を目指すか悩む
皆さんの意見の結果、トラバースして直接牛廻山を目指す。

(写真11) (ランチタイム---その1)



- ・(12:50)山頂はまだまだ先であるが、途中、斜面の崩落した個所があり、時間も1時間遅れのため、登頂を残念。ランチタイムに---

(写真12) (ランチタイム---その2)



- ・牛廻山山頂を断念し、無念の乾杯----

(写真13) (大峠山の麓で記念撮影—その1)



(写真16) (標識の修正—その1)



(写真14) (大峠山の麓で記念撮影—その2)



(写真17) (標識の修正—その2)



- 道がわかりにくいところをテープを貼り、標識等は方向を修正しながら下山する。

(写真15) (下山)



- (13:15)山頂を諦めて下山

(写真18) (イノシシの風呂場 ?)



- イノシシも風呂に入りたいのか ? 調べるとイノシシの風呂場を「ヌタ場」とい、体についたダニやシラミを泥と一緒に洗い落とすそうです。

(写真 19) (無事、下山)



- ・(16:30)登山口到着。
到着の10分前に、にわか雨に遭遇したが、大した支障はなく、心地よいおしめりであった。
- ・帰りは、龍神温泉に浸かり、疲れを癒した。

※[おまけ]

- ・山行中に見つけた植物等

(写真 20) (くるみの木)



- ・登り口の川沿いに生えていた。

(写真 21) (ホタルブクロ)



- ・同じく川沿いに咲いていました。

(写真 22) (サルオガセ)



- ・山行途中の日知沿いに……

(写真 23) (ホコリタケ)



- ・踏みそうな道沿いに……

.....
[最後に]

※・今回の「牛廻山」山行は、下調べをする資料が少なく、計画のコースタイムに甘さがあり、遅れ気味となった。

- ・また、標識や目印がない所があり、ルートの間違った時もあった。

- ・崩落した現場もあり、山頂へは残念したが、適切な判断で下山時間は計画どおりであった。

- ・以上、今回は時間的に遅れ目的地まで登頂できなかったことは、計画に甘さがあったものと反省である。

- ・帰りに龍神温泉に浸かり、反省と次回の山行への期待を膨らませ帰路に就く。
-